

諮問理由について

1 伊東市幼児施設連絡調整協議会の中間答申（R7. 3. 28）

伊東市幼児施設連絡調整協議会が令和6年11月21日から令和7年3月25日にかけて開催され、諮問事項として、①「宇佐美臨海テニス場跡地に津波避難機能を有する公立認定こども園を設置することについて」、②「施設設置に当たって必要となる機能について」の2点を諮問され、4回の協議を経て、令和7年3月28日に中間答申された。（別紙④）

【中間答申抜粋】①保育園と幼稚園との統合により認定こども園を設置することについては、早急に保幼間で園運営について協議を進めること。②耐震性のない園舎での保育を直ちに中止し、園舎の仮園舎への移転等も含め、令和7年度において早急な対策を図ること。

中間答申を受け、小野市政及び田久保市政において対応を検討したところ、宇佐美臨海テニス場跡地への認定こども園建設計画については中止することとし、耐震性の劣る宇佐美保育園園舎から園児及び職員の安全確保を図るため、機能移転を最優先に検討を進めることとした。（R7. 10 市 HP にて公表）

2 建て方及び移転先の検討経過

保護者の意見を最優先することを念頭に置き、現実的に移転可能な場所、移転までの期間も宇佐美地区で保育を継続して受けられる環境を維持することを前提として建て方及び移転先を以下のとおり検討した。

建て方	検討内容
土地を取得して新築	× 新たな建設地の取得までの見通しが不透明
同じ場所で建て替え	× 建て替え中も保育を継続しなければならない

↓ 建て方のほかに、既存施設4か所を建設候補地として検討

建設候補地	検討内容
宮川分園	× 建物に耐震性が無く、耐震化工事または解体工事が必要となり時間を要し、立地に課題あり。
宇佐美中学校	× 空き教室や十分な駐車場が無く、小中一貫校の動きあり
宇佐美小学校	△ 校舎1階の一部のみ利用可能
宇佐美幼稚園	△ 宇佐美幼稚園の継続が困難であり、そもそも宇佐美保育園の機能をそのまま移転させることは規模的に不可能。 認定こども園化し、一体で検討すれば利用可能。

3 早期移転の実現可能な案

上記の検討内容から、新築または建て替えることが難しい状況である。建設候補地については、課題は残るが宇佐美小学校と宇佐美幼稚園しかないため、保育園だけでなく幼稚園も合わせて機能移転することを考えた結果、「サテライト方式による幼保連携型認定こども園を前提に、移転先に宇佐美小学校及び宇佐美幼稚園」とすることで早期移転でき、耐震性が劣る宇佐美保育園での保育から解消され则认为る。

4 諮問事項1 サテライト方式による幼保連携型認定こども園（案）

(1) 配置・運用イメージ

移転先	宇佐美小学校1階【幼児棟】	宇佐美幼稚園【乳児棟】
※クラス	1・2号認定（3～5歳）	3号認定（1～2歳）
定員	70人	20人
給食の提供	①宇佐美幼稚園に調理室を設置し、宇佐美小学校へ搬出。宇佐美小学校には配膳室を設置。 ②1号認定への給食提供（現在は弁当を持参またはデリバリー給食）	
送迎用駐車場	駐車場の増設、近隣民間駐車場、宇佐美臨海テニス場跡地及び宇佐美教職員住宅の活用。	

(2) 1日のスケジュール（参考：熱海市立あたまこども園）

場所	第二小併設【幼児部】	旧小嵐保育園跡地【乳児部】
クラス	1・2号認定（3～5歳）	3号認定（0～2歳）
定員	1号：30人、2号：90人	3号：63人
7:15	登園	登園
10:00	環境によるこども主体の保育	好奇心や探求心を高める遊び
11:00		朝の集会・おやつ
		好奇心や探求心を高める遊び
12:00	給食準備・給食	午睡
	3歳：午睡	
	4・5歳：クラス活動	
14:00	1号降園	
15:00	おやつ	おやつ
15:30	好きなことにじっくり取り組む保育	好きな遊びをゆったり楽しむ保育
16:15	降園準備・順次降園	降園準備・順次降園
～18:30	延長保育	延長保育

※教育・保育を利用するこどもについて3つの認定区分を設けています。

1号認定：教育標準時間認定・満3歳以上

2号認定：保育認定（標準時間・短時間）・満3歳以上

3号認定：保育認定（標準時間・短時間）・満3歳未満

(3) 開園までのスケジュール

令和8～9年度の2か年にかけて設計、工事を行い、令和10年度中の開園を目指す。

時期	内容
令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> ・設計業務委託入札、業者決定、契約締結 ・設計業務委託完了 → 改修工事費の算出 ・補正予算案（令和9年度繰越）審議
令和9年度	<ul style="list-style-type: none"> ・常任福祉文教委員会協議会（入札前の概要説明） ・改修工事入札、契約締結 ・夏休み～休日の集中工事（約1年）
令和10年度	<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事完了後、引っ越し～開園。

(4) サテライト方式とするメリット、デメリット

メリット	デメリット
①幼児部では小1プロブレムを防ぎ、連続性のある育ちと学びを保障することを目的とした保幼小連携の体現 ②宇佐美保育園内にある「子育て支援センターきしゃぽっぽ」を乳児棟に機能移転することで、遊びの場や育児相談が可能 ③幼児部と離れ、静かな環境を確保できる	①宇佐美小学校のチャイム、楽器演奏、生活音の影響 ②幼児部の園庭確保が課題 ③幼児部、乳児部の連携が希薄となる恐れ ④宇佐美小学校及び宇佐美幼稚園は津波浸水想定区域のため対策が必要

(5) サテライト方式について、保護者からの意見

- ・最低限の改修でも2年かかるのか。
- ・宇佐美小学校に移転した場合、子どもたちは垂直避難することになるのか。
- ・サテライト方式によるデメリットの対応策はあるのか。
- ・宇佐美小学校の旧校舎は利用できないのか。

前述のとおり、諮問事項1「サテライト方式による幼保連携型認定こども園を前提に、移転先に宇佐美小学校及び宇佐美幼稚園」とすることは、改修工事により令和10年度の開園まで2年以上を要することが見込まれること、宇佐美小学校及び宇佐美幼稚園に移転しても浸水想定区域であるため津波災害対策が必要となる等、課題も多い状況。

そのため、その他実現可能な案として、諮問事項2「宇佐美保育園を閉園し、入所者は他の市内保育所等に転園」することについて検討。

5 諮問事項2 宇佐美保育園の閉園（案）

(1) 転園先の状況

宇佐美保育園の園児が公立3園に転園した場合、利用定員から見ると受入れは可能であるが、利用定員の上限を受け入れた場合、保育士の人数も増えることから実際の使用感としては狭いと思われるので、各園は少し余裕を持った受入れが好ましい。

令和８年度 入所児童数（見込み）		0 歳児	1 歳児		2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
			特1歳児	1.6 歳児					
富士見	利用定員		18		18	24	50		110
	R8 入園		2	5	10	21	24	23	85
	定員-入園数		11		8	3	6		25
玖須美	利用定員	9	18		18	24	51		120
	R8 入園	3	3	6	9	11	14	16	62
	定員-入園数		9		9	13	21		58
広野	利用定員		6		6	16	32		60
	R8 入園		5	1	7	9	13	12	47
	定員-入園数		0		△1	7	7		13
宇佐美	利用定員		12		18	20	50		100
	R8 入園		3	4	12	13	19	14	65

(2) 保育士等の配置

宇佐美保育園の保育士等は各園に分散されて配置され、不足することは見込まれないので配置基準に基づいた保育は可能。

(3) 通園方法

通園方法は保護者の送迎が必要となり、より多くの送迎専用駐車場の確保が必要となる。

(4) 閉園までのスケジュール

時期	内容
令和8年度	令和9年3月31日に閉園、4月1日から転園を想定した場合 ・10月中旬の入所申込前までに宇佐美地区保護者や宇佐美保育園、宇佐美幼稚園に対して説明会を開催。 ・転園先受け入れ準備（園児増加に伴う施設改修、備品整備等）
令和9年度	・令和9年4月1日から転園先での保育開始

(5) 閉園とするメリット、デメリット

メリット	デメリット
①耐震性が劣る宇佐美保育園での保育が解消される ②公立保育園への転園ならば、保護者・園児と保育士との関係性も継続される。	①宇佐美保育園閉園後の方向性について不透明 ②宇佐美地区以外への送迎となるため、保護者の負担が大きくなる。 ③「子育て支援センターきしゃぽっぽ」の設置が不透明

(6) 閉園にすることについて、保護者からの意見

- ・来年度からすぐに閉園は難しいのではないかな。
- ・開園時間について、変更することも検討していただけるのか。(11時間保育)
- ・通園バスの運行を検討してほしい。
- ・閉園し転園となった場合、きょうだい別々の園に入所した場合送迎が大変になるので、通園や入所の配慮は率先してやっていただきたい。
- ・先生が代わることの不安がある。今の先生や友達と一緒に同じ園に行ってほしい。
- ・玖須美保育園には屋上があるのか。屋上に避難して津波は来ないか。
- ・玖須美保育園で津波があった場合、宇佐美から迎えに行くことが出来ないことが想定されるので宇佐美に園があった方がいい。

6 サテライト方式による移転後又は閉園後の計画

移転後、当分の間はサテライト方式によるこども園の運営を続ける。サテライト方式又は閉園のいずれかの計画と同時に新たな保育施設を建設することを約束するものではない。

なお、今回の移転又は閉園とは別に、サテライト方式の運営状況、園児数の推移及び学校統合の状況を検証の上、市内の公立保育園及び幼稚園全ての園において再編計画を策定する。

7 保護者アンケートの実施

宇佐美保育園、宇佐美幼稚園の保護者に対し、諮問事項である「サテライト方式」か「閉園」の可否や転園問題に係る内容として居住地及び送迎を行う方の勤務地についてアンケートを実施する。

8 第6回協議会について

次回の第6回協議会においては、耐震性の劣る宇佐美保育園園舎から園児及び職員の安全確保を図るため、保護者アンケートの結果等を参考とし、サテライト方式又は閉園のいずれに進むべきかについて審議する。